



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)  
2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)  
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

# 週報

第441回例会6月5日(火)AM 7:30~8:30 オークラクトシティホテル浜松4F平安の間  
■司会:高木一浩 鈴木孝尚 ■点鐘:鷺津 有一 ■ロータリーソング:希望のエナジー  
■ビクター:浜松東RC 鳥井 徳孝様

## 会長挨拶

鷺津副会長:今日は、1冊の本を紹介したいと思います。

「人を助けるすごい仕組み」という本で、早稲田大学大学院専任講師であり、「ふんばろう東日本支援プロジェクト」代表の西條剛央(たけお)さん37歳の著作です。

本の内容は、西條さんとその仲間数人で立ち上げたプロジェクトが、短期間のうちに約3,000箇所以上の避難所・仮設住宅・個人避難宅に「15万点以上」にも及ぶ物資支援を届ける事を成功させたり、雇用創出プロジェクトにより、121名もの方に重機免許を取得させたりといった、数々の離れ業を、政府・地方自治体や寄付団体を經由することなく、支援者と被支援者とを直接つないで成功させて行った「仕組み」や「原理」について、仔細に解説したものです。

ボランティアなどされた事も無い、30代の西條さんが、「構造構成主義」という原理に従って行動し続けた結果が引き起こしたものです。

誰もが想像もしない事態に直面したとしても、その時その時の「状況」「目的」に合わせて「方法論」を決める事で、答えは自然と導かれるという、あらゆる組織に応用できる、極めてシンプルな「原理原則」が書かれています。

今までの法則で対処しようとした結果「支援は要請が無ければ動けない」という「要請主義」により「大阪市では、大量の物資を集めたものの、受け入れ先が無く、倉庫に山積みになっている」とか「全員に、完全に同一の物を、同時期に配らなければならない」という「公平主義」により「300枚の毛布があっても配らない、野菜を放置して腐らせる」とか、信じられない事が起こっていたようです。

よく、既成概念からの脱却と言いますが、それがどういった事なのかが、とても良くわかる本だと思います。この本の印税全額と、ダイヤモンド社の売上の一部は「ふんばろう東日本支援プロジェクト」を中心に復興支援活動に寄付されますので、本を買って読むことで、自己啓発と東北復興支援の一石二鳥となるということで、皆さんに紹介させて頂きました。

## 幹事報告

- (1) 先日、浜松西ロータリークラブの35周年記念式典に会長・幹事が出席してきました。何とホームで皆出席35年の方の表彰がありました。私も今年度は休みなく出席していますが特にホーム出席は大切な事だと思えます。卓話を聞ける事はもちろんのこと、皆様とお顔をあわせたり会話をしたりすることによってクラブ内の状況も把握できますので、とても良い事だと思えます。是非出席向上を図って下さい。
- (2) 本日は、レターケースに6月分のロータリーの友とガバナー月信が入っていますのでご覧ください。また、ロータリーの友8月号で「会員増強および拡大月間」にちなみ、会員増強に成功しているクラブの特集記事を掲載するというので、我がクラブに原稿依頼が来ています。こちらは会員増強維持委員会の有川委員長と諸星部会長にお願いしてありますので、8月号を楽しみにしててください。
- (3) 本日は、例会終了後、第6回予定者会議を3階メイフェアの間で開催致します。関係者の方はよろしくお願い致します。

## スマイル報告

高木一浩:今日が最後の例会の司会です。つたない司会でご迷惑をかけました。一年間ありがとうございました。

## 恒例のラジオ体操



出席

93名中69名74.19%  
前々回修正出席率75.7



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)  
2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)  
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

議事卓話

第 441 回例会  
2012年6月5日  
出席部会

# 出席部会新入部会員紹介および 部会メンバーによる近況報告



土屋公良さん・・・昨年8月に入会しました。大学は理工の専攻でしたが、広告・デザインの仕事をしています。お金では買えないものを大切にをモットーにしています。



犬丸英雄さん・・・最近、フェイスブックに興味があり、メンバーの人ともお友達になっています。山村部会長の休会で代行をしていますが、100%が達成できず残念です。



西尾文克さん・・・出席になって2年になります。「貴方はなぜロータリアンになったのか」を常に考えています。地域貢献に関してロータリーは大きな役割を果たせると期待しています。



富田清志さん・・・次年度もやります。出席の仕事はハードだと考えています。次年度はこれを改善すべく工夫していきます。



奨学生の賀さん・・・先日は、学校の駅伝に参加しました。この1年で5キロ太ってしまったので、運動を心がけるようにしています。



滝浪實さんに夏にむけて健康に留意すべき点をお話していただきました。